

関西大学総合情報学部

2024 年度秋学期「画像情報処理」（金曜日 3 時限、担当：浅野晃） 特別講義
（受講生以外の方も参加できます）

デジタルツインが実現する世界

～もたらす価値と克服すべき課題～



講師：坂東 幸浩 教授

（下関市立大学 データサイエンス学部）

2025 年 1 月 10 日（金） 13:00-14:00 TB106 教室

（講義室のディスプレイに接続したパソコンを zoom のホストとして、講師は学外から講義します。受講生には zoom ID を関大 LMS で通知しますので、講義室外でも受講可能です。受講生以外で講義室外での参加を希望される方は、浅野までメールでお問い合わせ下さい。）

（録画も後で提供します。大学院科目「画像・視覚感性工学」（金曜日 5 時限）の受講生は、録画視聴により受講して下さい。）

講演概要（講師より）：

デジタルツインと呼ばれる概念が注目されています。デジタルツインとは、物理空間で観測されたデータを用いて、仮想空間上にコピー（電子的な双子）を構築する概念をさします。デジタルツインは、コスト削減、品質向上、予知保全等を実現できることから、様々な業容・業態において、その活用が期待されています。本講義では、デジタルツインの基本的な概念から説き起こし、産業界における活用例を紹介すると共に、今後の社会実装における課題を概観します。講義を聴くだけでなく、是非、皆さんの身近なところで、デジタルツインを利用できそうな応用先に思いを巡らせてもらえればと思います。

お問い合わせ：浅野晃 a.asano@kansai-u.ac.jp